



代表

永易 修治

長く営業職に従事していたが、母親の病をきっかけに退職。その後、再就職の際に未経験ながら保険業界に飛びこんだ。業界の体質に戸惑いながらも、お客様の立場に立った営業スタイルで成績を伸ばし、やがて営業所長に。そして、自身が思うかたちでお客様に保険を提供したいと、独立して『法人保険研究所』を立ち上げ、現在に至る。

法人保険研究所

愛媛県西条市大町 1577-2
アクア・ピサイド 1F
TEL 0897-47-8448

保険のスペシャリストとして 各企業に最適な保険を提案

法人向けの保険を中心に取り扱っている『法人保険研究所』。永易代表は大手保険会社で営業マンとして経験を積む中で、お客様に寄り添った保険の提案をしたいとの思いを募らせ、独立に至った。本日は佐藤蛾次郎氏が訪問し、代表と塩崎さんのお二人にインタビュー。

——『法人保険研究所』さんは法人向けの保険代理店さんだそうですね。永易代表はどういった経緯で保険の業界に？

(永) もともと異業種で営業職に就いていたのですが、母が大病を患ったことから一緒に居る必要性を感じ、退職して母と共に過ごしていました。ですが辛いなことに、母が元気を取り戻しましてね。それで再就職して飛び込んだのが、保険業界だったんです。保険の知識はなかったものの、営業ならできるだろうとはじめたのですが、随分勝手が違って戸惑いました。

——と、言いますのは？

(永) 飛び込み営業をしても、名刺を渡しただけで嫌な顔をされてしまったんです。

その時に、お客様を守るはずの保険なのに売り手側が無理に押しつけている——そんなイメージがあるから嫌な顔をされるんだと気が付きました。それから、とことんお客様のためを考えて、自分なりの営業スタイルを模索。そして、ある役所の方の保険を見直して差し上げたところとても喜んでいただき、それを機にお客様の縁が広がって仕事は順調に進むようになっていきました。やがて営業所長の立場になりました、その時の部下で主任として頑張ってくれていたのが、塩崎なんです。

(塩) 私も保険業界にいます中で、もっとお客様に寄り添ったかたちで仕事ができないかと考えていました。そんな時、代表の「保険はお客様のためにあるもの」という考えを知り、独立なさると聞いた時に一緒に考えていただけたんです。

——目指すものが一緒だったんですね。独立なさって、いかがですか。

(永) とても面白く、やりがいを感じています。私共は法人向けに保険活用を紹介していますが、自分が経営者になったこともあってお客様と同じ目線に立ってお話できますし、先方も歓迎して下さるんですよ。保険のプロとして、お客様企業それぞれの事情や経営者の方の生活スタイルなどを聞きし、その企業・経営者の方に合った最適な保険を提案させていただいています。保険について真剣に考えて、プロに相談しようという企業や経営者の方は案外少ないもの。見直せばきつとより良い保険活用方法が見つかりますから、私共に気軽に相談いただきたいですね。

——それでは最後に、今後の展望を。

(永) 会社を大きくしたいとは考えていませんし、従業員を増やすつもりもありません。これからもお客様に喜んでいただける保険の提案を続けるだけです。



ゲストインタビューアー

佐藤 蛾次郎

(俳優)



対談に参加いただいた塩崎純子さんも交えて

「保険業界に入られたのは決して早くはなかった永易代表ですが、こうして独立して頑張っておられるのですから、向いていたのでしょうね。塩崎さんという心強いパートナーと共に、これからも頑張ってください」